

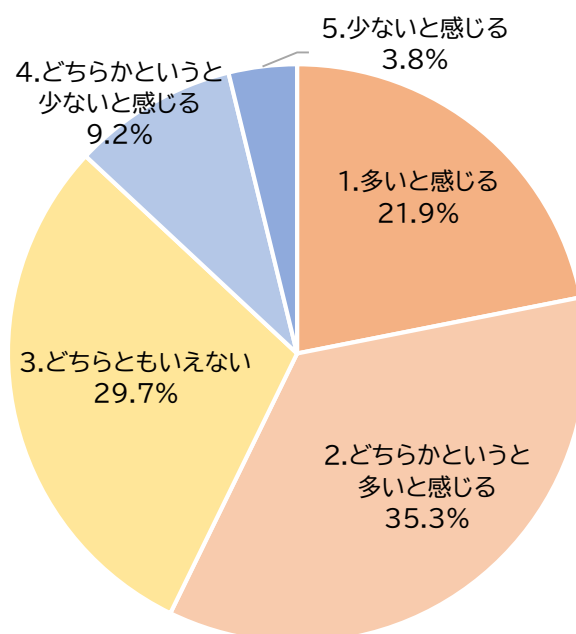
住民アンケート調査結果

ごみ減量に関するアンケートを実施しています。その中で「減量化・資源化の取組状況」、「ごみ処理の有料化」について整理を行います。

家庭から出るごみの量は、「多いと感じる」（「どちらかというとも多いと感じる」を含む）は 57.2%、「少ないと感じる」（「どちらかというとも少ないと感じる」を含む）は 13.0%となっています。

問1. 家庭から出るごみの量が多いと感じますか？

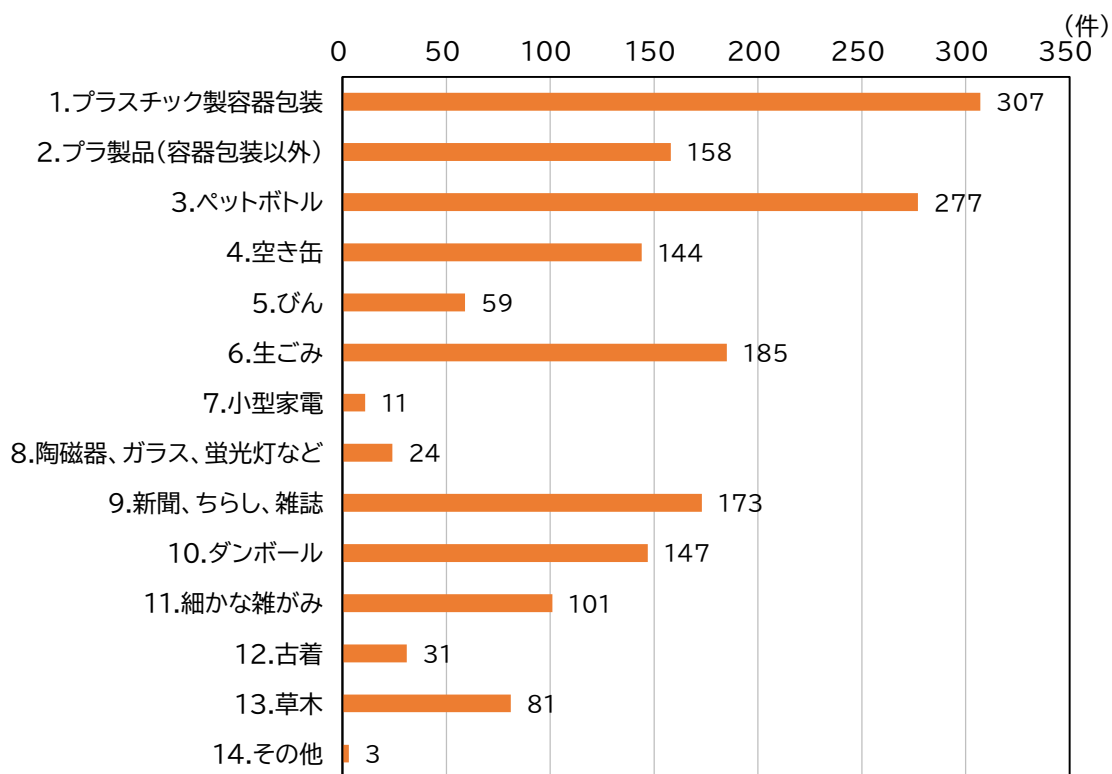
- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 多いと感じる | 2. どちらかというとも多いと感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというとも少ないと感じる |
| 5. 少ないと感じる | |



多いと感じるごみは、「1. プラスチック製容器包装」との意見が最も多く、「3. ペットボトル」、「6. 生ごみ」、「9. 新聞、ちらし、雑誌」の順になっています。

問2. どのようなごみが多いと感じますか？

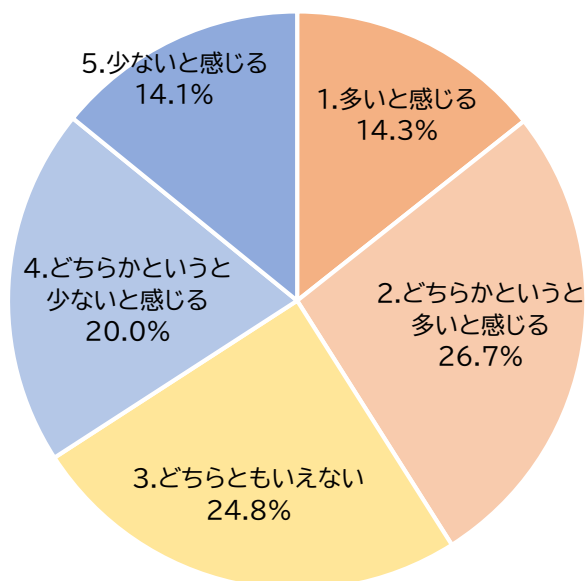
- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. プラスチック製容器包装 | 2. プラスチック製品（容器包装以外） |
| 3. ペットボトル | 4. 空き缶 |
| 5. びん | 6. 生ごみ |
| 7. 小型家電 | 8. 陶磁器、ガラス、蛍光灯など |
| 9. 新聞、ちらし、雑誌 | 10. ダンボール |
| 11. 住民説明会等の開催 | 12. 古着 |
| 13. 草木 | 14. その他（ ） |



家庭の食品ロスの排出状況は、「多いと感じる」（「どちらかというとも多いと感じる」を含む）は 41.0%、「少ないと感じる」（「どちらかというとも少ないと感じる」を含む）は 34.1%となっています。

問 3. 国民一人当たりお茶碗約 1 杯分（約 140 g）の食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）が家庭から毎日捨てられていると言われます。ご家庭の食品ロスの状況をどのように感じますか？

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 多いと感じる | 2. どちらかというとも多いと感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというとも少ないと感じる |
| 5. 少ないと感じる | |



問4. ごみの減量やリサイクルのため、ご家庭ではどのような取組を行っていますか？

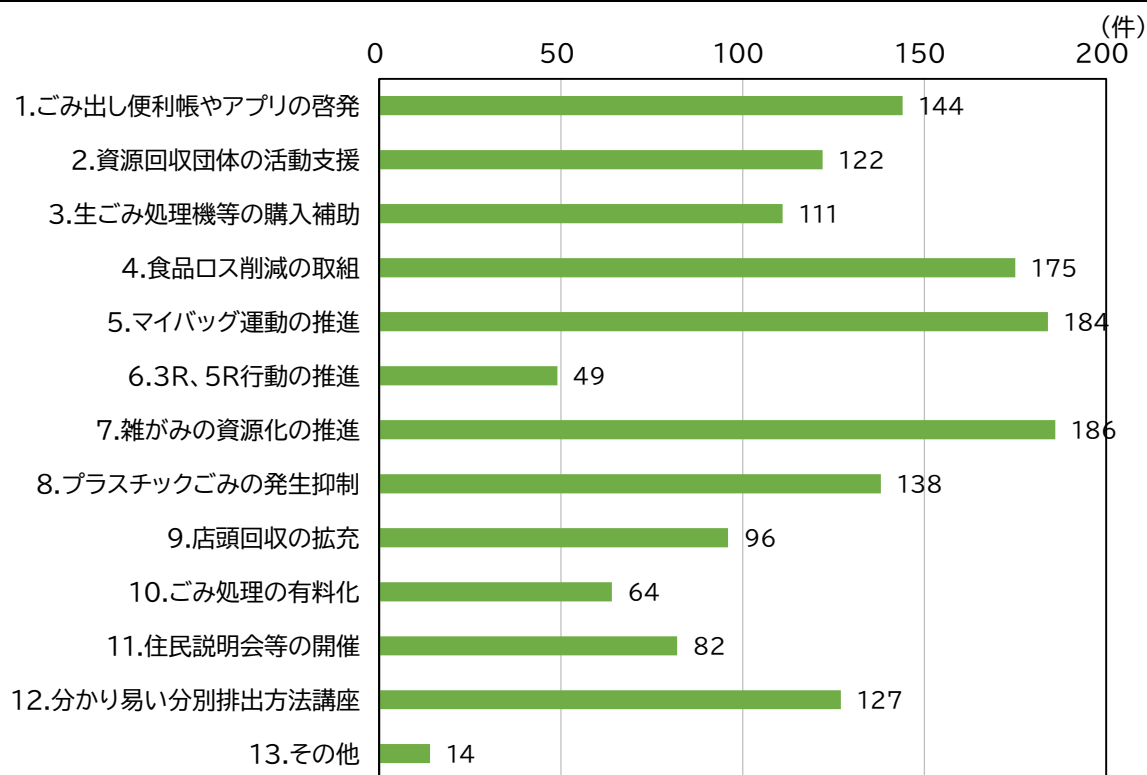
1. 資源物を正しく分別している
2. 集団（資源）回収に協力している
3. ごみ出し便利帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている
4. 資源・ごみ分別アプリ（さんあ〜る）を活用している
5. 生ごみ処理機等を活用し堆肥化を行っている
6. 生ごみを捨てる際は水切りを徹底している
7. 食品を粗末にしないよう適量を購入し、使い切り、残さないようにしている
8. マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない
9. 過剰包装を断り、ごみの発生を抑制している
10. 使い捨て商品の使用を控え、再生品を購入している
11. 空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している
12. マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている
13. プラスチック製品（食品容器、ストロー）の使用を控えている
14. 資源物の店頭回収を利用している
15. 広報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもっている
16. 市が開催するごみ出しマナー教室（出前講座）に参加している
17. その他（ ）



これからの必要な取組は、「7. 雑がみの資源化の推進」、「5. マイバッグ運動の推進」、「4. 食品ロス削減の取組」、「1. ごみ出し便利帳やアプリでの啓発」などが高い件数を示しています。

問5. ごみの減量やリサイクルのためには、どのような取組が必要であるとお考えですか？

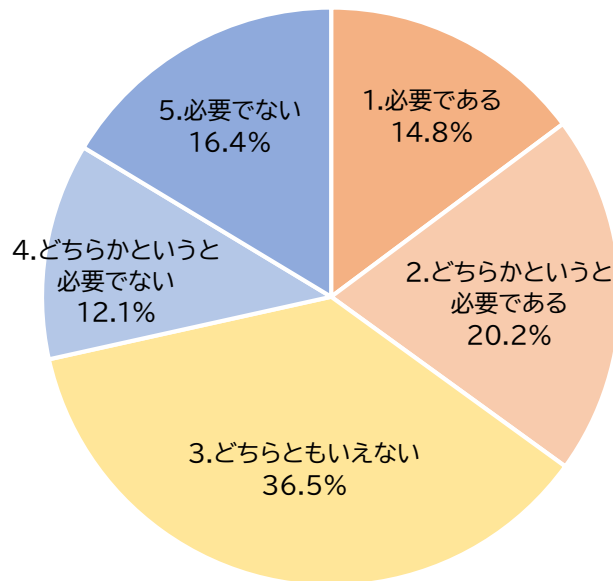
- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. ごみ出し便利帳やアプリでの啓発 | 2. 資源回収団体の活動支援 |
| 3. 生ごみ処理機等の購入補助 | 4. 食品ロス削減の取組 |
| 5. マイバッグ運動の推進 | 6. 3R、5R行動の推進 |
| 7. 雑がみの資源化の推進 | 8. プラスチックごみの発生抑制 |
| 9. 店頭回収の拡充 | 10. ごみ処理の有料化 |
| 11. 住民説明会等の開催 | 12. わかりやすい分別やごみ出し方法の講座 |
| 13. その他（ | ） |



ごみ処理の有料化の実施に関しては、「必要である」（「どちらかという必要である」を含む）は 35.0%、「必要でない」（「どちらかという必要でない」を含む）は 28.5%となっています。

問6. ごみ処理の有料化を実施することについて、どのようにお考えですか？

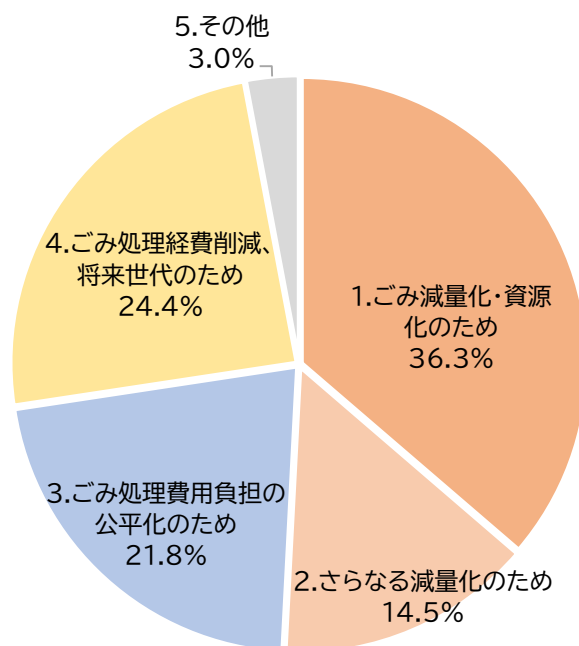
- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 必要である | 2. どちらかという必要である |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという必要でない |
| 5. 必要でない | |



「必要である」（「どちらかという必要である」を含む）と回答した方で、ごみ処理の有料化が必要と感じる理由で、「1. ごみの減量・リサイクルに効果があると考えるため」が36.3%と最も多く、次いで「4. ごみ処理経費の削減や将来世代への負担を軽減できると考えるため」が24.4%となっています。

問7.（問6で「1. 必要である」又は「2. どちらかという必要である」と回答の方）ごみ処理の有料化が必要と感じる理由を教えてください。

1. ごみの減量・リサイクルに効果があると考えるため
2. 現在実施している取組だけではごみの減量が進まないと考えるため
3. ごみの量に応じた費用負担によって公平性が図られると考えるため
4. ごみ処理経費の削減や将来世代への負担を軽減できると考えるため
5. その他



「必要でない」（「どちらかというとも必要でない」を含む）と回答した方で、ごみ処理の有料化が必要でないと感じる理由で、「4. 不法投棄や違反ごみが増え、周辺環境が悪化すると考えるため」が35.1%と最も多く、次いで「3. これ以上の費用負担を求めるべきではないと考えるため」が19.3%となっています。

問8.（問6で「4. どちらかというとも必要でない」又は「5. 必要でない」と回答の方）ごみ処理の有料化が必要でないと感じる理由を教えてください。

1. 本市のごみの減量・リサイクルは進んでいると考えるため
2. 現在実施している取組が徹底されれば減量が進むと考えるため
3. これ以上の費用負担を求めるべきではないと考えるため
4. 不法投棄や違反ごみが増え、周辺環境が悪化すると考えるため
5. 一時的な減量効果となり、リバウンドがあると考えるため
6. ごみ処理経費の内容が不明確であり、まずは処理の効率化によって経費を削減すべきであると考えため
7. その他

